

多文化共生についてのアンケート結果

本県には、3万2千995人の外国人が住んでいます。（令和元年12月末現在：住民基本台帳人口）これは、県民約43人に1人が外国人ということになります。

県では、滋賀県多文化共生推進プラン（第2次改定版）を策定し、

「滋賀県で暮らし、働き、学ぶすべての人が、国籍や民族などの違いにかかわらず、相互に人権と個性を尊重しながら、多様性を生かして活躍できる多文化共生の地域社会」を目指し、多文化共生施策に取り組んでいます。

多文化共生の推進にあたり、県民の皆様の多文化共生についての意識や外国人県民等との関わりの現状について把握することを目的としてアンケート調査を実施しました。

【外国人県民等とは】

国籍、民族にかかわらず、母語や文化、宗教、生活習慣など、日本以外の背景をもつ県民

★調査時期：令和2年8月

★対象者：県政モニター399人

★回答数：349人（回収率87.5%）

★担当課：総合企画部国際課

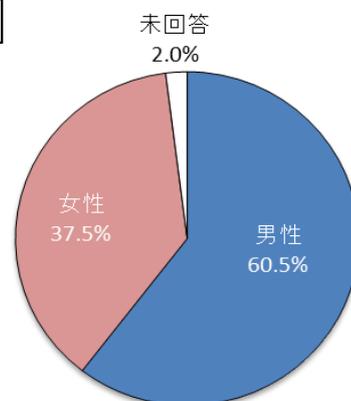
（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

◆性別

項目	人数（人）	割合（%）
男性	211	60.5
女性	131	37.5
未回答	7	2.0
合計	349	100.0

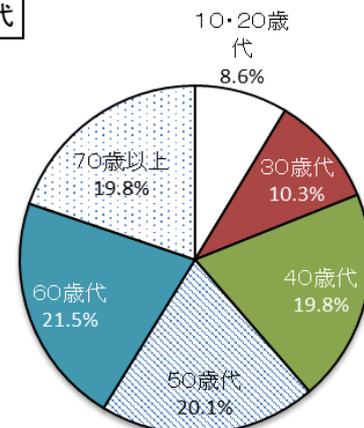
性別



◆年代

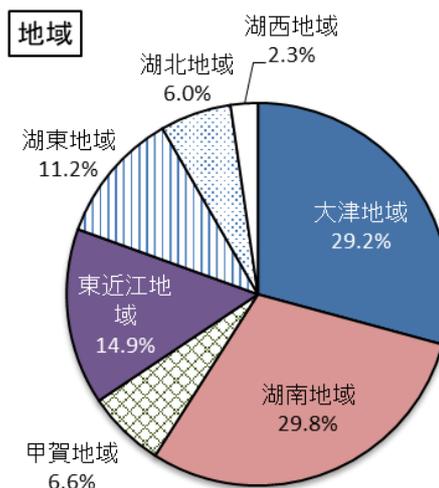
項目	人数（人）	割合（%）
10・20歳代	30	8.6
30歳代	36	10.3
40歳代	69	19.8
50歳代	70	20.1
60歳代	75	21.5
70歳以上	69	19.8
合計	349	100.0

年代



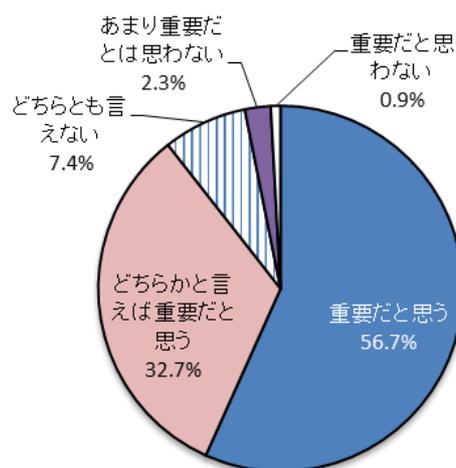
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	102	29.2
湖南地域	104	29.8
甲賀地域	23	6.6
東近江地域	52	14.9
湖東地域	39	11.2
湖北地域	21	6.0
湖西地域	8	2.3
合計	349	100.0



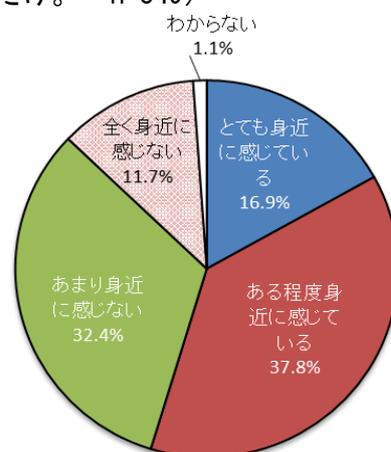
問1 あなたは、「国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく。」多文化共生社会の実現についてどう思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
重要だと思う	198	56.7
どちらかと言えば重要だと思う	114	32.7
どちらとも言えない	26	7.4
あまり重要だとは思わない	8	2.3
重要だと思わない	3	0.9
合計	349	100.0



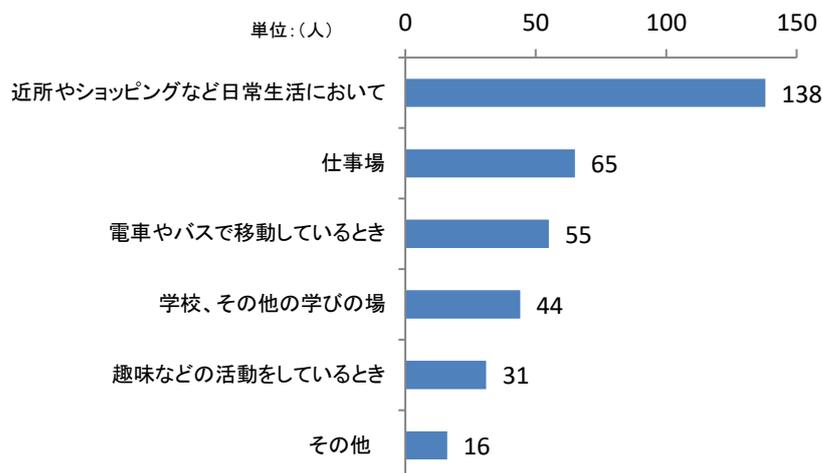
問2 あなたは、普段生活をしていて、外国人県民等の存在を身近に感じますか。次の中から1つだけ選んでください。(回答チェックは1つだけ。 n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
とても身近に感じている	59	16.9
ある程度身近に感じている	132	37.8
あまり身近に感じない	113	32.4
全く身近に感じない	41	11.7
わからない	4	1.1
合計	349	100.0



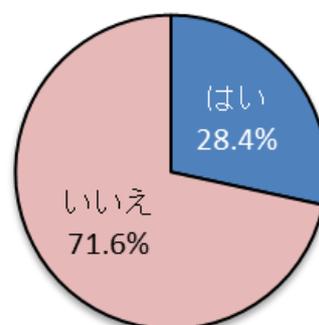
問3 【問2】で「とても身近に感じている」または「ある程度身近に感じている」を選択された方にお尋ねします。どのような場面で外国人県民等の存在を身近に感じますか。(回答チェックはいくつでも。 n=191)

項目	人数(人)	割合(%)
学校、その他の学びの場	44	23.0
仕事場	65	34.0
趣味やサークル活動など文化的な活動をしているとき	31	16.2
近所やショッピングなど日常生活において	138	72.3
電車やバスで移動しているとき	55	28.8
その他	16	8.4



問4 あなたは過去3ヶ月間に、外国人県民等と会話(単なる“こんにちは”以上)をしたことはありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=349)

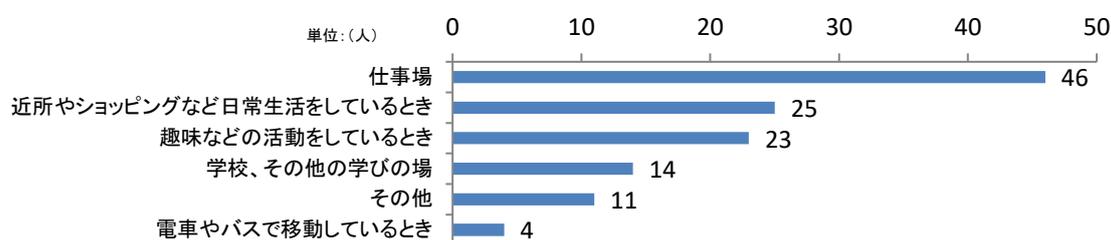
項目	人数(人)	割合(%)
はい	99	28.4
いいえ	250	71.6
合計	349	100.0



問5 【問4】で「はい」と選択された方にお尋ねします。

その会話は、どこでしましたか。(回答チェックはいくつでも。 n=99)

項目	人数(人)	割合(%)
学校、その他の学びの場	14	14.1
仕事場	46	46.5
趣味などの活動をしているとき	23	23.2
近所やショッピングなど日常生活をしているとき	25	25.3
電車やバスで移動しているとき	4	4.0
その他	11	11.1

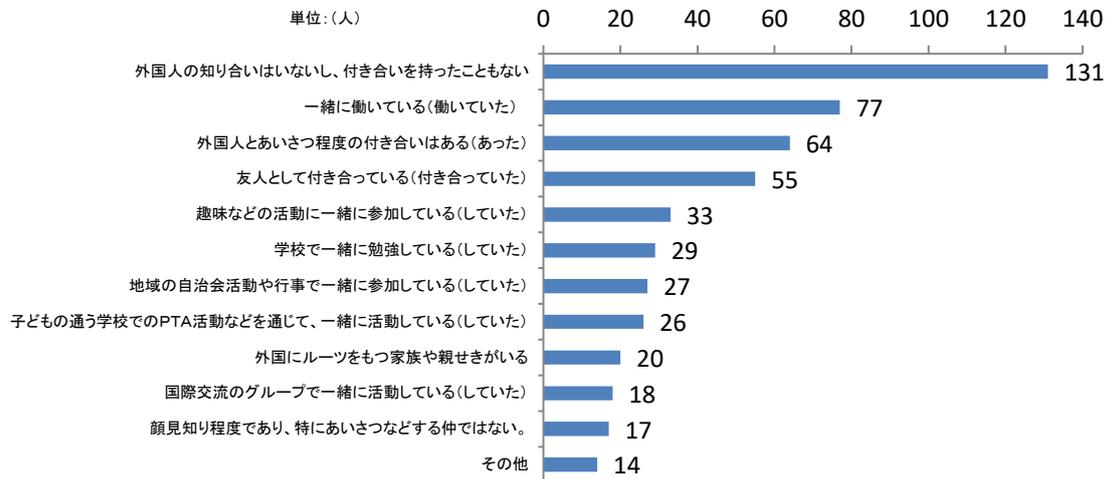


問6 あなたは外国人県民等とどのような付き合いがありますか。

(過去の経験を含む)(回答チェックはいくつでも。 n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
友人として付き合いしている(付き合いしていた)	55	15.8
外国にルーツをもつ家族や親せきがいる	20	5.7
一緒に働いている(働いていた)	77	22.1
学校で一緒に勉強している(していた)	29	8.3
国際交流のグループで一緒に活動している(していた)	18	5.2
地域の自治会活動や行事と一緒に参加している(していた)	27	7.7
子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している(していた)	26	7.4
趣味などの活動と一緒に参加している(していた)	33	9.5
外国人とあいさつ程度の付き合いはある(あった)	64	18.3

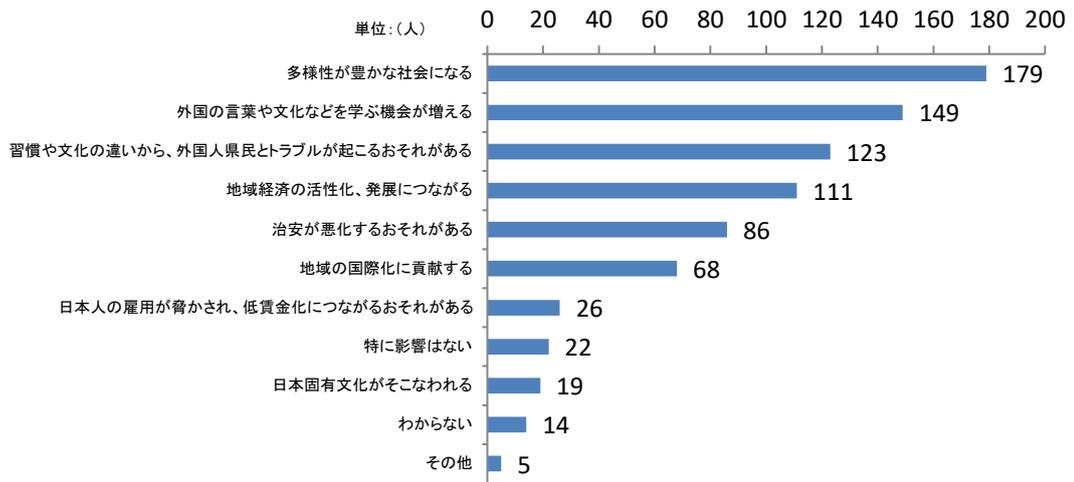
顔見知り程度であり、特にあいさつなどする仲ではない。	17	4.9
外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない	131	37.5
その他	14	4.0



問7 あなたは、地域社会に外国人県民等が増えることについてどう思いますか。

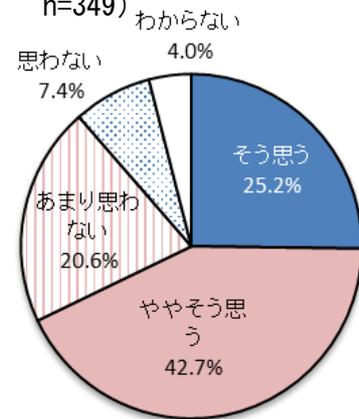
(回答チェックは3つまで。 n=349)

項目	人数(人)	割合(%)
多様性が豊かな社会になる	179	51.3
地域経済の活性化、発展につながる	111	31.8
外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増える	149	42.7
地域の国際化に貢献する	68	19.5
習慣や文化の違いから、外国人住民とトラブルが起こるおそれがある	123	35.2
日本人の雇用が脅かされ、低賃金化につながるおそれがある	26	7.4
治安が悪化するおそれがある	86	24.6
日本固有文化がそこなわれる	19	5.4
特に影響はない	22	6.3
わからない	14	4.0
その他	5	1.4



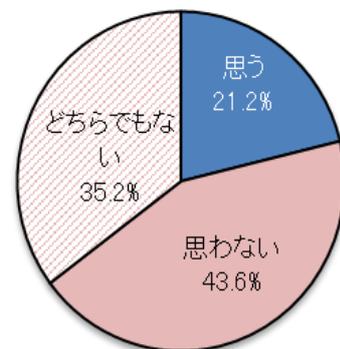
問8 あなたは、外国人県民等と地域社会や仕事場、学校、イベントなどで、交流や関わりを持ちたいと思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=349)

項目	人数 (人)	割合 (%)
そう思う	88	25.2
ややそう思う	149	42.7
あまり思わない	72	20.6
思わない	26	7.4
わからない	14	4.0
合計	349	100.0



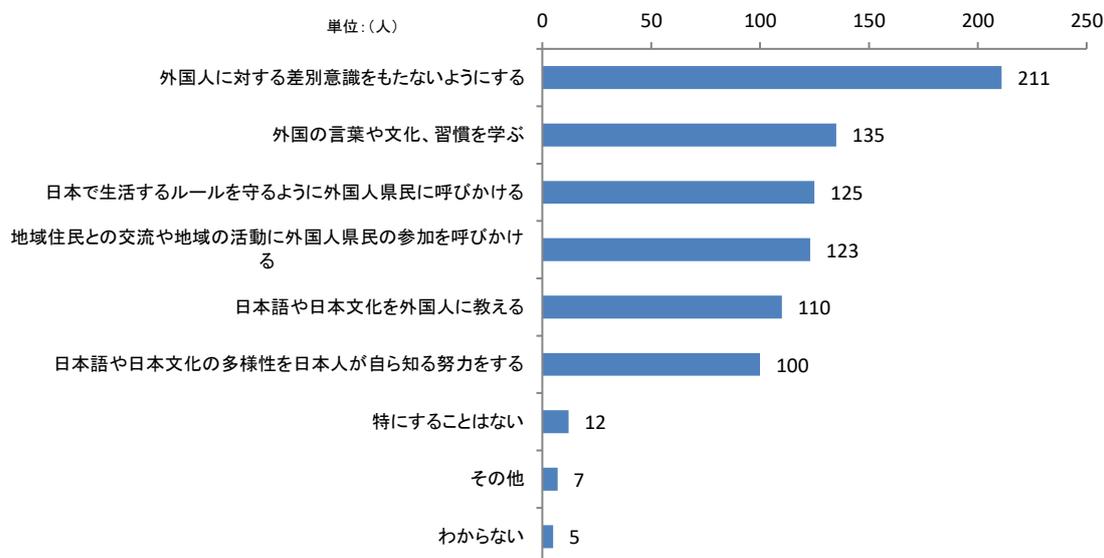
問9 あなたは外国人県民等が地域の一員として、地域の社会活動等(例：自治会などの地縁組織の活動、祭り等の地域行事、ボランティア活動など)に参画していると思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=349)

項目	人数 (人)	割合 (%)
思う	74	21.2
思わない	152	43.6
どちらでもない	123	35.2



問 10 日本人県民と外国人県民等が共に安心して暮らし活躍できる地域社会にしてい
くために、日本人県民は何をすべきと思いますか。(回答チェックは3つまで。 n=349)

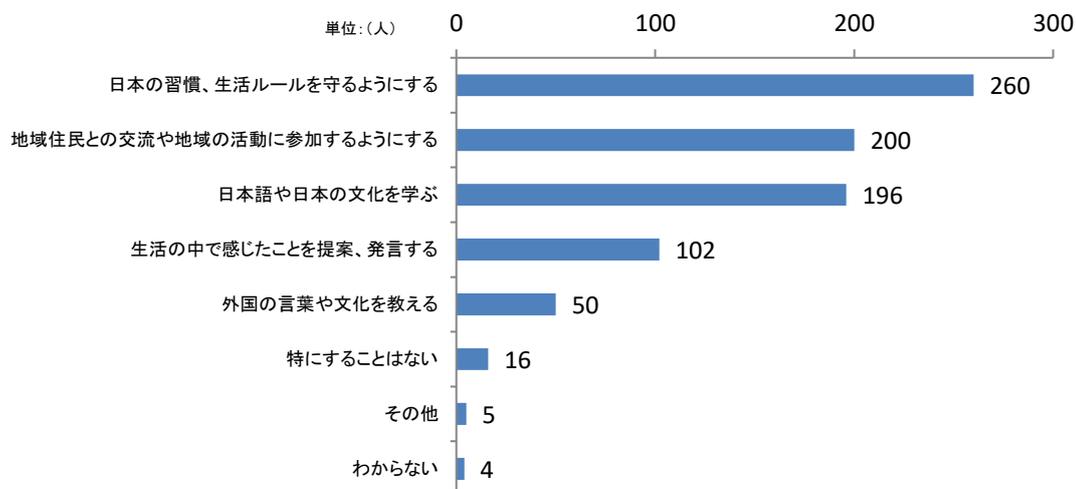
項 目	人数 (人)	割合 (%)
外国人に対する差別意識をもたない ようにする	211	60.5
外国の言葉や文化、習慣を学ぶ	135	38.7
日本語や日本文化の多様性を日本人 が自ら知る努力をする	100	28.7
日本語や日本文化を外国人に教える	110	31.5
日本で生活するルールを守るように 外国人住民に呼びかける	125	35.8
地域住民との交流や地域の活動に外 国人住民の参加を呼びかける	123	35.2
特にすることはない	12	3.4
わからない	5	1.4
その他	7	2.0



問 11 日本人県民と外国人県民等が共に安心して暮らし活躍できる地域社会にしてい
くために、外国人県民等は何をすべきと思いますか。

(回答チェックは3つまで。 n=349)

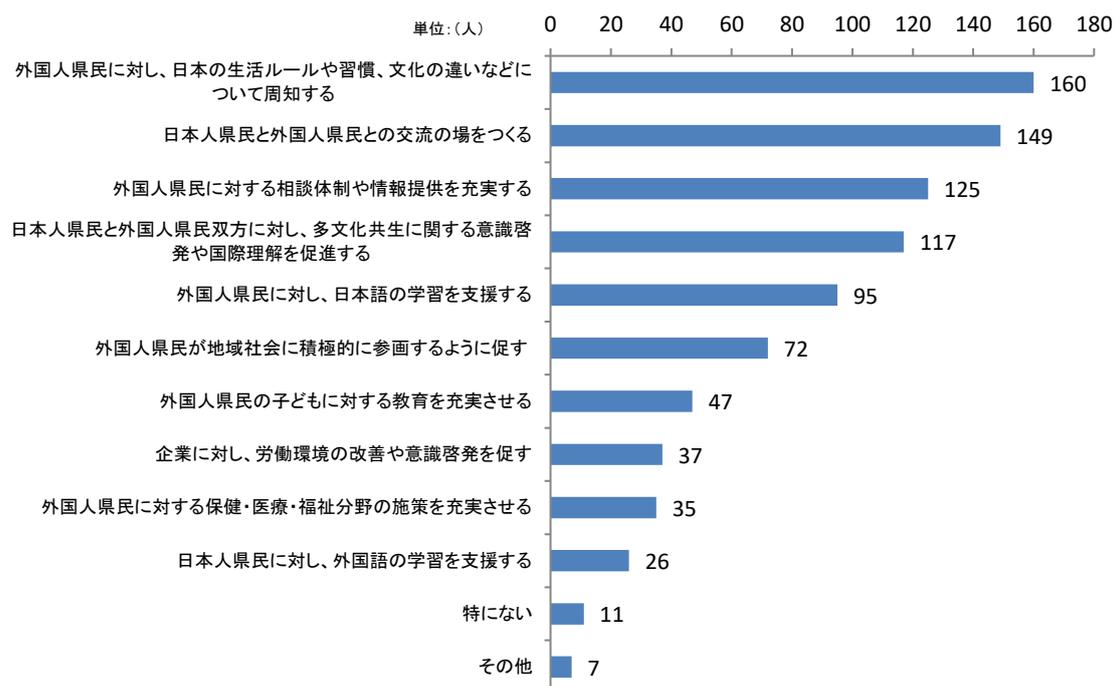
項 目	人数 (人)	割合 (%)
日本の習慣、生活ルールを守るようにする	260	74.5
日本語や日本の文化を学ぶ	196	56.2
地域住民との交流や地域の活動に参加するようにする	200	57.3
外国の言葉や文化を教える	50	14.3
生活の中で感じたことを提案、発言する	102	29.2
特にすることはない	16	4.6
わからない	4	1.1
その他	5	1.4



問 12 日本人県民と外国人県民等が共に安心して暮らせ活躍できる社会にしていくために、県や市町などの行政は、どのような取り組みに力を入れるべきと思いますか。

(回答チェックは3つまで。 n=349)

項 目	人 数 (人)	割 合 (%)
日本人県民と外国人県民との交流の場をつくる	149	42.7
日本人県民と外国人県民双方に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する	117	33.5
外国人県民が地域社会に積極的に参画するように促す	72	20.6
外国人県民に対する相談体制や情報提供を充実する	125	35.8
外国人県民に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する	160	45.8
外国人県民に対し、日本語の学習を支援する	95	27.2
日本人県民に対し、外国語の学習を支援する	26	7.4
企業に対し、労働環境の改善や意識啓発を促す	37	10.6
外国人県民に対する保健・医療・福祉分野の施策を充実させる	35	10.0
外国人県民の子どもに対する教育を充実させる	47	13.5
特にない	11	3.2
その他	7	2.0



問 13 その他、日本人県民と外国人県民等が共に安心して暮らせ活躍できる地域社会についてご意見がありましたらお聞かせください。(抜粋)

- ・今後ますます外国人県民が増える可能性があり、滋賀県にとっては大切な問題であると思う。
- ・外国人も日本のルールは国民性を知りことも大切だと思うが、それ以上に、日本自身が日本の良さ、清潔、思いやりの心を持つことがより大切だと思う。
- ・身近に外国人の方を感じることはない。滋賀県にこんなに外国人県民が居住しているとは知らなかった。
- ・日本にいるなら日本のルール（法律）を守るのは当たり前。
- ・国籍などが違って、人類みな同じだが、外国人による犯罪などがあると偏見をもつことがある。
- ・「多文化共生」といっても出身国やその人の個性によってとらえ方も違うので、難しい。
- ・習慣や文化は、長い歴史の知恵の積み重ねであり、お互い尊重したい。
- ・文化・生活習慣などお互いに理解することが必要だ。
- ・異文化をもつ人々が切磋琢磨でよりよく発展していく文化を尊重できるようにしたい。
- ・日本人県民と外国人県民をわけて考えることがなくなるように努力をするべき。
- ・外国人労働力に頼らざるを得ないところがある。うまく継続して働いて頂ければ日本のためになるかも知れない。
- ・相手側の国民性や将来の本国と日本との関係性を十分考慮して交流すべきかと思う。
- ・このアンケートで『滋賀県多文化共生推進プラン』の存在を知った。日ごろからのPRが重要だと思う。